

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-123
補助事業名 平成25年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

1960年に第1回展が開催され、その後、ほぼ毎年開催されている。現代は発足当初とは、違った視点のクラフトが求められている。また、日本の伝統工芸技術が基礎にあり、我が国の持つ優れた文化を現代にいかしながら、その技術と精神を継承している。

クラフトデザインの向上を図り、生活文化の発展に寄与するとともに優秀なクラフトマンの発掘や、次世代の育成を目的に開催されている。日本人の総意工夫で築いた高度で独自のクラフト文化を礎に、豊かな生活環境作りに貢献する。

(2) 実施内容

第53回日本クラフト展開催 (<http://www.craft.or.jp/home/craft53.html>)

会 期： 平成26年1月8日(水)～16日(木)

11:00～19:00(最終日は16時まで)

会 場： 東京ミッドタウン・デザインハブ

(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

展示内容： 会員作品と一般公募入選作品・学生入選作品

作品点数： 821点(会員170名、一般106名、学生29名 計305名)

入場者数： 7,736名

事業実施体制： 会員による実行委員会を組織した。

合計3回の委員会を実施し、テーマ設定や公募、審査から設営、実施当日に至るまでの取り組みを行った。



第53回日本クラフト展会場

2 予想される事業実施効果

受賞及び入選作品は、全国のクラフト従事者にとっての指標の一つとなる。素材の扱いやデザイン性は地場産業や個人作家、また工業デザインやプロダクトデザインの分野にも影響を与え、デザインの向上に寄与していくことが予想される。また、本事業が起点となって海外や地方での展示会等継続的に展開している。2014年にはパリ日本文化会館での展示準備が進められている。本展は本事業の派生事業として受賞者及び会員を中心に86名の作品を展覧する。こうしたことが将来において日本の文化振興や技術革新へと還元され日本のデザインの向上に寄与する。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

■応募要項 A3 4つ折

The image displays a collection of promotional materials for the 53rd Japanese Crafts Exhibition. On the left is a large vertical poster with the title '公募 第53回日本クラフト展' and the date '2013.10.21'. The central and right portions of the image contain smaller posters and a detailed application form. The application form, titled '第53回日本クラフト展 (一般・会友・学生) 応募要項', includes sections for '応募資格', '応募方法', '応募期間', '応募料', '抽選', '展示', and 'お問い合わせ'. It also features logos for HJODA and RINGIRINGI.

(別紙5)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会
(ニホンクラフトデザインキョウカイ)

住所： 151-0053
東京都渋谷区代々木1-37-20 酪農会館404

代表者： 理事長 岡本 昌子 (オカモト マサコ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 西川 雅典 (ニシカワ マサノリ)

電話番号： 03-3370-1324

F A X： 03-3372-4924

E - m a i l： info@craft.or.jp

U R L： <http://www.craft.or.jp>